

2023年（令和5年）6月12日

報道関係者各位



藤沢市役所 ×



藤沢駅南北自由通路拡幅整備及び駅改良工事に着手します ～第1期整備の工事施行協定を締結～

藤沢市（市長：鈴木 恒夫）と小田急電鉄株式会社（本社：東京都新宿区 社長：星野 晃司 以下、「小田急」とする。）は、2023年（令和5年）6月12日付けで「藤沢駅南北自由通路拡幅整備事業及び藤沢駅改良事業に伴う第1期施行の工事に関する協定」（以下、「本協定」とする。）を締結しました。

本協定に基づく南北自由通路拡幅及び駅改良（橋上駅舎化）の整備によって、南北連携強化などによる市民や駅利用者等の利便性・回遊性向上及びまちの活性化を図り、2028年（令和10年）3月末の完成を目指し、工事に着手します。

1. 本協定の締結日 2023年（令和5年）6月12日（月）

2. 本協定の概要

(1) 工期 2023年（令和5年）6月12日から2028年（令和10年）3月31日

(2) 総事業費 8,368,321,000円

藤沢市負担額 6,421,011,000円

小田急負担額 1,947,310,000円

(3) 事業主体 藤沢市 — 自由通路に関すること

小田急 — 駅改良に関すること

(4) 工事概要 【自由通路】延長約41m 幅員16m

- ・小田急側自由通路について、既存8mの自由通路を16mに拡幅
- ・南口付近に新たにエレベーターを整備

【駅改良】橋上駅舎約2,451㎡

- ・既存の地上改札を自由通路階に橋上化し、メインの改札機能は自由通路階とし、地上階についても一部供用
- ・駅コンコース内にエレベーター2基、エスカレーターを4基整備
- ・観光案内施設、公衆トイレ、交番の機能については、新たな駅施設の一面に再整備

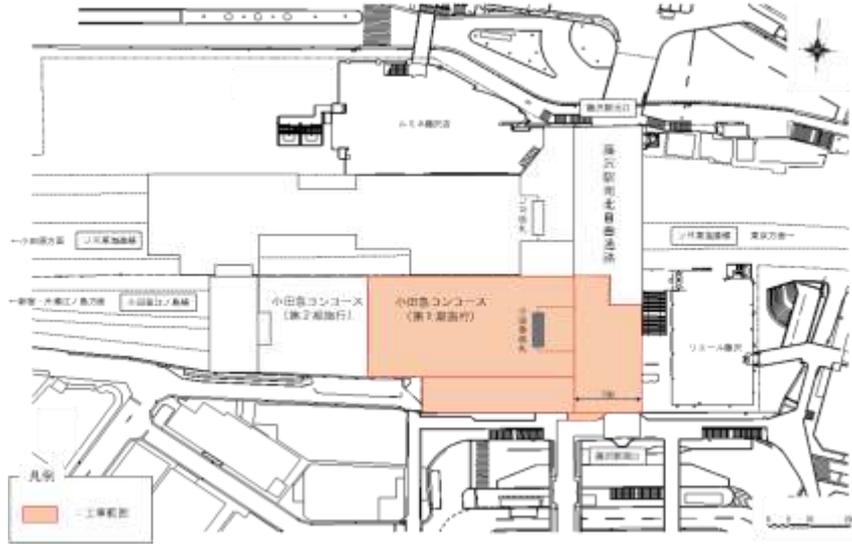
<参考>

小田急は、「鉄道駅バリアフリー料金制度」を活用し、本事業期間と同じ時期にホームドアを整備

《次項あり》

3. 整備範囲及び完成イメージ

※現時点での完成イメージであり、実際とは異なる場合があります。なお、一部 JR 東日本の財産所管部分については、別途施行協定を締結し、JR 東日本に委託します。



本協定における整備範囲



鳥瞰図（南口から望む）



自由通路階（南口から望む）



地上階（南口から望む）



自由通路階（北口から望む）

*この資料に関する問い合わせ先

<自由通路に関すること>

藤沢市役所 都市整備部 藤沢駅周辺地区整備担当 飯田・浅野・渡邊・清水
直通 : 0466(50)3552 (内線: 4330)

<駅改良に関すること>

小田急電鉄株式会社 小田急お客さまセンター
直通 : 044(299)8200